

百石

8号
1979.4.24

発行所 東洋介
516 伊勢市古町235



北村さんのお便り

（プラザートお手紙に対する返信）

もうしばらく「百万石」を通して、三重支部のいろいろなことを探りあててみたい
好奇心がありますので、金千円也をとりあえず、送ることにします。
けれども、こんどの「ライオンお便り」と称するあたりの内容については
基本的には賛成しかねます。ほく自身も中学校や小学校にいたころ「ひとり新
聞」を出したり、条件がそろったときには「職場新聞」を発行したりして、だいたい
「ひとり」のまん中にいたことが多かったのです。そしてある意味では、こんどの「お便
り」のおかしさにかけているあやまちみたいなことを知らず知らず、しばしばくりかえ
しました。

賛成しかねる理由

・何よりも、あせりを感じました。
・「百万石」読者に向け「元祖三重版」をサービスするというやり方は、いかに
も自分のまわりに気心の通じる「側近」「親しい味方」を確保するための方策
のようにみえてならない。
・「百万石」カンパするものと「カンパのメカニクスの少ない人」があつても、もともと
機関決定で発行するものでないのだから、差つかえはないと思う。
・「読者」が「読まぬか」をいまそうせよかちになせ問う心算があるのか。
・そんなえらうことをどうしていえるのか。

何をあせているのか、わからぬが

「読者の顔面を、かきとめてきているのは、ゴーマンにみえる。たとえ
いるとしても、それは紙面の、その人にとってのミカドの有無もあるだろうと思う。
」。「百万石」批判のはじめからの目的」がはつきりしているならば、カンパで
やれる範囲で（回数）なるべく会員みんなに見てもらって、いくぶん勢が必死
と聞くと、

・ほんとうに批判する力が「愛読者」にだけあるとは思えない。ひよつと
すると、いくら予防線をほつても「義理が悪い」「顔をあかしたとき具合がわ
るいから……」になるのではないか。

・三重支部の体質が「ぼろぼろ」革新的になっていっているとは思いません。
・なぜ、講読料制はなかなかいいと思つたのでしょうか。ぼくには「親善講
読」外様の区分をつけるような作用しかないと思えます。

・七〇年代は革新分裂の時代です。へんな流行に毒されないよう念願
しています。

（4月14日夜）



神聖術 神原匡章

※ 藤井聖弘 運命学会 理事
※ 伊勢一の宮 橋大神社 南勢橋会 支部長
※ 神聖術鑑定
家の新築 増改築の吉凶 移転の方位
病弱 結婚 相性 命名 運勢 姓名
事業経営 人運 事務所の間取り

返信料同封の上 お申込下されは 会員
に限り 無料相談に応じます。
家相の相談の人は 図面（方位明示）必要。
特に 姓名、玄關、トイレ、台所を忘れず記入。
名前には 生年月日を。
TEL 0598-23-5175 5176
〒516 伊勢市 宝塚町 703-3

北村さんの原稿

北村さん、せっかく入選したのに、出品しないといっ
話を聞いて、東が再度出品のすすめ、出品のお願
いのハガキを出して、そそに対する返信スタイルの原稿

何度もお電話下さった上に、速達まで頂いて心から申し訳なく思つております。
先日ハガキで申したように、「わたしのおぼ」のことで連日、体と心をいためつづ
けていたところへの入選通知は、とてもよろこびをかみしめる余裕もなく、また
作品も東さんの説得力に負けて「義理」で心算したわけで、自分としてはあま
り愛情をこめて書いたということもあつて、今回は出品しないことにきめていま
けれども、速達を拜見しているうちに、JRP入会前からの「思議」の重さに負
けて、全面的な降伏は、絶対許すべきでないと思つていました。例会上出席して弁
明しようと思つていましたが、もし、わたしの予想的中して、東大先生のファッ
ションに憤慨してしまつた方々ばかりで、「大先生」と「エゴイスト」だけの空しい議論
に終始して、例会そのものを白けさせてしまふことは、一番、支部の仲間への迷惑
と考へて、東さんの欠席しました。作品をあずけてくれた池住さん
は本当に清まないことになったのですが、とてそ出席する勇氣は出てきま
せんでした。

私の不満を集約すると、次のような表現になります。
・個人的な事情とか信条とか感情とかは、JRP会費である限りはJRP
Pの目的、のためには、持ち出すべきでないといわれるのか。
・中心誠心の、よいエゴイストはJRP会費の中では不良分子、
迷惑者といふことになるのか。
・三重支部が「土門組系」ではないとするならば、文面の中の次の
と二つは、とくに独断ではなからうか。
（イ）応募して出品しない人を、善意に解散する人は殆どいない。（注）
（ロ）組織のことを考えない自分個人のことしか考えない人間と解散
させてもあたりまえ。
（ハ）三重支部のメンバーは求める所まで来た。いったい三重は視察展を
どう考えているのか。という糾弾はないとしても、もしはまぬがれず、
支部の仲間への迷惑は間違いないありませぬ。

速達の内容をギリギリまで煮つめると、こういうことを おっしゃって
いると思つて。
・少々の事情はあつても何とかがまんしてJRPの発展のために出る。しな
い。
・文句や考えがあれば、あとから聞いてやろう。
・それでもあえて「支部の仲間への迷惑」をかけるなら……（ハッ）

いまは、あのとき応募すべきでなかったと思つています。気のうら
い、妥協すれば、あとで尾をなぐという向度めかの体験をしました。（JRPへ
入ってから始めて）
・ぼくは、エゴイストといわれても仕方ないと思つてます。どうしても親善隊
の体質ではなからうか。
・けれども、民主的な体質の組織といふものは、異議者や不良を内部に包んで
いなくてはならないという信念は、教師であつたころも変わっていません。
・気心のあつただけの集団というものは、キゲンだと思つています。表面は
にみえてはいるだけで、内部に不満がウチセキしかたです。三重支部だって例
外ではないと思つてます。自由な討論が、してもらえそうと聞いたら、向
も例会は欠席していいと思つてます。シム太郎はかりになるキグを待
たから欠席したので。

とにかく、これだけの致命傷を負わされたら回復に今年中はかかりそう
です。ぼくは、五分テンカンにひまのかかる方です。
来年は、五分一新させて引きつづきJRPの末席においてもらいたい
ものだと思つていますが、いろいろすみません。（4月23日）

その後のおハガキ（抜粋）

わたしが 出品しなかったために 三重支部
の方たちに どのような迷惑がかかるのか
「百万石」の紙上で 明確に 答えて下さい。

更に この後にも おハガキがあるのですが
一応 略させて いたたきました。

「百万石」購読 申込みは次の通
りいただきました。

申込してくれた人 31名
（内 2名は JRP 以外の人）
送られてきた金額 37350円
（2,000円 下さった人が 5名
他に CM 料など）

北村さんのお便り
にいろいろ反省が
せられました。
これからの編集
運営その他に
留意します。
ご意見を
是非お寄せ
下さい。

(注) 差違 → 心算に 意義を感じ 出品に 価値を 認めない ため 欠席 すると 解釈 する こと